

教育だより

来て・見て・参加して、新たな発見！

古民家・旧島田家住宅

旧島田家住宅は、三富開拓三百年記念事業の一環で三芳町の文化遺産として民家を保存するとともに、三富の歴史と文化の学習の場と、人々の交流の場として活用することを目的にして移築復元された古民家です。

今回は、旧島田家住宅で行われている活動を紹介いたします。
問い合わせ 社会教育課 (☎517)

民家歳時記

～季節の行事～

私たちの暮らしの中には、正月・雛祭り・端午の節句・お盆などの年中行事があります。農業が主体だったかつての三芳では、これらの行事は季節をつかむ目安であり、労働の区切りとして重要な役割を持っていました。

現在、生活様式の変化によって見られなくなったり、簡略化されてしまった行事も多くありますが、古民家では、いろいろな思いや願いを込めて行われていたこれらの年中行事を再現展示しています。

七夕飾り(8月・上
十五夜(9月・下)



さつまいも作り教室

～参加してみよう～

三富は、さつまいもの特産地。上富の六間道は、秋になると直売のぼり旗が立ち並びます。そのさつまいも作りの一年を通じて、三富の歴史や文化、そこに伝わる知恵を学ぶ体験教室が「さつまいも作り教室」です。

この教室は、地元農家の指導・協力を受けながら、冬の落ち葉掃きから始まり、秋の収穫まで続きます。実りの秋を期待しつつ、心地よい汗をかきながらの作業を行います。広報でお知らせしますので、ご希望の方は冬の落ち葉掃きからのご参加を。



▲苗さし体験(初夏・上)
収穫体験(秋・下)



▶竹の子の皮草履を履いて夏の三富へ(夏・上)
雑木林から贈り物☆リース作り(冬・下)

ジュニア三富塾

～郷土を学ぶ体験学習～

小中学生とその保護者を対象として、楽しく郷土を学ぶ体験教室が「ジュニア三富塾」です。

主に夏と冬に実施し、三富の資源を生かした郷土学習を行っています。募集は、各学校を通じて行いますので、お楽しみに。

三富塾 活動ボランティアの会

旧島田家住宅での活動で欠かさない存在が、博物館ボランティア「三富塾活動ボランティアの会」です。平成十六年から募集を開始し、現在十四名が活動を行っています。体験教室の企画・実施から小中学校の見学解説などを職員と一緒に、机の上だけでは感じ取れない郷土の生活・文化・歴史を伝えていきます。勉強会としては、文化財めぐりや地元農家に指導を頂いたり、他の博物館ボランティアと交流研修などを実施しています。驚きや楽しさを参加者と共有する三富塾活動ボランティアにご興味のある方は、一緒に活動してみませんか。

くらしの民具

旧島田家住宅では、あたかも生活しているように、できるだけ自然に配置しています。そのため、民具に名札はほとんど付けていません。知りたい民具があれば、ぜひ声をかけてください。そこから、新しい発見に繋がるかもしれません。



一期一会の おもてなし

人々の交流の場としても活用される旧島田家住宅。訪れた人がちょっとほっとするような、なにげない「おもてなし」を心がけています。それが、鉄瓶で沸かしたお湯で入れるお茶と四季折々の生け花です。民具や竹などといった古民家ならではの器を使って身近な草花を飾り、訪れる人をお迎えしています。

旧島田家住宅に、まだ小学生の児童が「なつかしい」と言いながら遊びにすることがあります。その様子は、おかしくも私たちのどこか遠い記憶に先祖が見たかつての情景がしっかりと結びついているのかもしれない。

この夏、失われつつある良き三芳の伝統を探りに、古民家へ遊びに来てはいかがですか？



▲見学者対応(上)・体験教室の実施(下)



旧島田家住宅
住所：上富1279-13
電話：(2558)0220
休館日：月曜・祝日・年末年始
開館時間：午前9時～午後4時
入館無料